



左右社  
新刊情報

【人文書】【ノンフィクション】  
【エッセイ】

FAX 03-3486-6590

注文扱い 8月15日〆切

相手が女性というだけで、自分より知識も経験も劣っているはず、と講釈を垂れたり、説教する、それが「マンスプレイニング」だ。

# 説教したがる男たち

*Rebecca Solnit : Men Explain Things to Me*

レベッカ・ソルニット

そんなオヤジたちは津々浦々どこにでもいる。

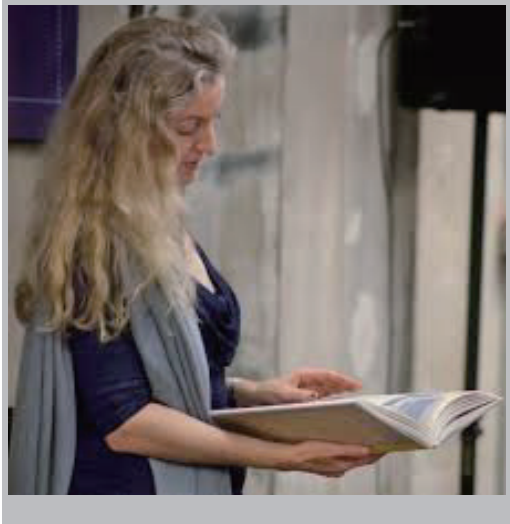
四六判上製 / 予価 2,500 円 + 税

ISBN978-4-86528-208-5

だが、これは失笑して済ませればいいのか？

近年、日本でも使われ始めた「マンスプレイニング」の起源と言われるテキスト、「説教したがる男たち」を収める、ソルニットのフェミニズムをめぐるエッセイ集。グローバルな格差構造をそのままなぞったかのようなエリートたちの暴行のおぞましさ、同性婚への根深い反対。そこには人間の平等への嫌悪が潜み、男性だけを認める無意識の共同体の根深い女性への嫌悪があると暴き出す。SNS時代のフェミニズムと地続きにあるウォークスの著者による最新刊！

## 現代の最重要書籍のひとつ、待望の邦訳



### レベッカ・ソルニット

1961年生まれ。作家、歴史家、アクティヴィスト。1988年より文筆活動を開始する。登山から歩行他巡礼までを自在に論じた哲学エッセイ『ウォークス』（左右社）をはじめエドワード・マイブリッジ伝 *River of Shadows* (2004、全米批評家協会賞)、旅や移動をめぐる思索 *A Field Guide to Getting Lost* (2005)、ハリケーン・カトリーナ取材した『災害ユートピア』など、環境、土地、芸術、アメリカ史など多分野に20を越す著作がある。

### 目次

- 1 説教したがる男たち
- 2 長すぎる戦い
- 3 豪華なスイートで衝突する世界
- 4 脅威を称えて 結婚の平等が真に意味するもの
- 5 グランドマザー・スパイダー
- 6 ウルフの闇 説明しがたいものを受け入れること
- 7 ぞっとしているカサンドラ
- 8 #YesAllWomen フェミニストが書き換える物語
- 9 パンドラの箱と自警団

取次・貴店印

レベッカ・ソルニット◎著 ハーン小路恭子◎訳

## 説教したがる男たち

四六判上製 / 192 頁 / 予価 2,500 円 + 税 / ISBN978-4-86528-208-5

冊

ご担当

さま

レベッカ・ソルニット◎著 東辻賢治郎◎訳

## ウォークス 歩くことの本質

四六判上製 / 520 頁 / 定価 4,500 円 + 税 / ISBN978-4-86528-138-5

冊

左右社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-6 金王アジアマンション 502  
TEL03-3486-6590 / FAX03-34866584